



平成 13 年 8 月 1 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 精 工 技 研
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 上 野 昌 利
(コード番号 6834)
問 合 せ 先 経 営 企 画 室 主 任 細 江 宣 明
(TEL . 047 - 388 - 6401)

平成 14 年 3 月 期 中間期及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 13 年 5 月 18 日の決算発表時に公表した平成 14 年 3 月 期 (平成 13 年 4 月 1 日～平成 14 年 3 月 31 日) の中間及び通期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想

中間期 (単独) (平成 13 年 4 月 1 日～平成 13 年 9 月 30 日) (単位: 百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	中 間 (当 期) 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	6,000	2,238	1,220
今 回 修 正 予 想 (B)	2,250	68	126
増 減 額 (B - A)	3,750	2,170	1,094
増 減 率 (%)	62.5	96.9	89.6

通期 (単独) (平成 13 年 4 月 1 日～平成 14 年 3 月 31 日) (単位: 百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	13,500	5,227	2,802
今 回 修 正 予 想 (B)	6,500	946	636
増 減 額 (B - A)	7,000	4,281	2,166
増 減 率 (%)	51.8	81.9	77.3

2. 修正の理由

- (1) 中間期は、売上高 6,000 百万円、経常利益 2,238 百万円、中間純利益 1,220 百万円を計画しておりましたが、世界的な光通信業界の設備投資の抑制と在庫調整により、光通信用部品は大幅に需要が減少しました。このため当社で取り扱う光部品および同製造機器の受注の落ち込みが予想以上に大きく、販売数量が急減したため、売上高 2,250 百万円、経常利益 68 百万円、中間（当期）純利益 126 百万円となる見込みです。需要低迷による対応策として、人件費の削減、設備投資計画の見直し等によるコストダウンを進めたものの、受注減少が大きく響き、損益にも大きく影響しております。
- (2) 下半期は売上高 7,500 百万円、経常利益 2,989 百万円、当期純利益 1,582 百万円を計画しておりましたが、下半期から見込んでおりました市場の本格的な回復は、来年度以降にずれ込むと予想しております。このため売上高は 4,250 百万円、引き続きコストダウンに努めるものの、稼働率低下に伴う原価率の上昇、固定費率の増加により、経常利益 878 百万円、当期純利益 510 百万円となる見込みです。
- (3) この結果、平成 14 年 3 月期（平成 13 年 4 月 1 日から平成 14 年 3 月 31 日）は、売上高 6,500 百万円、経常利益 946 百万円、当期純利益 636 百万円を予想しております。

3. ご参考：前期の実績（平成 12 年 4 月 1 日から平成 13 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
中間期（12/4～12/9）	7,005	3,109	1,586
通期（12/4～13/3）	13,157	5,530	2,891

以上